

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立水島工業高等学校		
実践者等	岡本秀行	実践日	令和3年11月上旬
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	公民科「現代社会」		
対象生徒(学年等)	3年生全クラス(5学科、318名)		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	現代の企業「企業の社会的責任」		
使用したアプリ等	Forms、Jamboard		
実践の概要(ねらい等)	Jamboardを活用し、企業の果たす役割について、企業の様々なCSR活動やSDGsとの関連について考える。		

実践の内容

色々な企業のCSR活動について、本事業から想像し、具体的なCSR活動を知る。

- (1) 活動の仕方についてM社の例を知る。
- (2) 生徒一人一人に配付された36枚のカードが掲載されたJamboard(ワークシート: 下図左)と36枚のカード(PDF化しまとめたファイル: 下図中)を開き、1枚のカードは会社を選び、その会社が行っているCSRのカードを2枚選択する。
- (3) 最初は、全員、事務機器メーカーC社と建設・機械メーカーK社を優先的に取り組む。
- (4) 選んだカード番号は、タッチペンを使用してワークシートに書く。
- (5) 大型スクリーンにサムネイル化された生徒各自のJamboardを見て、取り組み状況などを確認する。⇒ 解答が済んだ生徒に、選んだ理由を聞く。
- (6) 正解を聞き、企業のCSR活動の理解を深める。
- (7) C社とK社のCSR活動とSDGs17の目標との関連を、Forms(下図右)で解答する。



【Google Workspaceのアプリを使用した効果】

- ① 従来はワークシートをカラー印刷し、1クラス分用意していたが、その必要がなくなり資源の有効活用ができる。
- ② 従来は36枚のカードを、L版サイズの写真を8セット準備していたが、不要となる。
- ③ ワークシートを大型スクリーンに投影することにより、学びの共有がしやすい。(特にコロナ禍における話し合い活動に制限がある中では有効である。)

参考となるHP等